

ワールド ハンディキャップシステム ついに始動



世界各地ですでに稼働しているワールドハンディキャップシステムが4月から日本国内でも導入されます。ゴルフ史上初となる世界共通のハンディキャップシステムとは何か、ゴルファーにどんなメリットをもたらしてくれるのか。Q&A形式で分かりやすく解説します。

Q ワールドハンディキャップシステム(以下WHS)とは、どのようなものでしょうか。

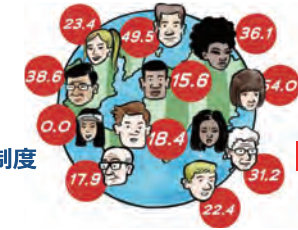
A ゴルフはプレーや用具などに関してはUSGAとR&Aが共同でつくった規則を全世界で運用していますが、ハンディキャップ(以下HDCP)には世界的な規則がありませんでした。これまでは各国のゴルフ統括団体が独自にHDCP規定を制定し運用しており、世界には分かっているだけでも6つの異なるHDCPシステムが存在しており、JGAではUSGAHDCPシステムを採用していました。各システムはそれぞれの地域で有効に運用されていましたが、同じプレーヤーでもシステムによって特徴や計算方法が異なるためHDCPの数値が変わってくるなどの課題があったのです。このままでは世界的な視点で考えれば公平とはいえません。世界中で公平に運用ができるように統一したHDCPシステムをつくろうと動き始めたのが2012年。長い年月

をかけて議論と研究を重ねてつくりあげたのがWHSです。世界各国は2020年から順次、WHSの運用をスタートさせておりますが、日本は言語の翻訳や新たな運用に混乱なく移行できるよう十分に考慮したシステム改修を行い、今年4月にいよいよ始動いたします。

Q これまでJGAが使用してきたUSGAのHDCPシステムから、どのように変わるのでしょうか。

A WHSのベースになっているのはUSGAのHDCPシステムですから大きく変わることはありませんが、より公平に、より取得しやすくなったといえるでしょう。新しくHDCPインデックスを取るためのスコアカードの枚数も少なくなります。これまで新規取得にはスコアカード5ラウンド分が最低限必要でしたが、WHSでは3枚(54ホール分)でOK。まだHDCPインデックスを持っていない方は、自分のHDCPインデックスをよりスピーディーに手にすることができるようになるの

ハンディキャップとは
技量の異なるプレーヤー同士が
公平にゲームを競い合うことができる
他のスポーツにはない、ゴルフ特有の優れた制度



2020年WHSスタート
『世界統一のHDCP制度』



世界で6つの異なるHDCP制度

2022年4月
日本国内の運用開始

★初回 HDCP インデックス取得に必要なスコア枚数

| | 従来のUSGAシステム | WHS |
|---------------------|-------------|------------|
| 初回インデックス取得に必要なスコア枚数 | 18ホールスコア5枚 | 54ホール分のスコア |



★ HDCP インデックスの上限

| | 従来のUSGAシステム | WHS |
|----------------|------------------|----------------|
| HDCP インデックスの上限 | 男子36.4 女子40.4 | 54.0 (男女一律) |



です。HDCPインデックス算出に採用されるスコアカードの枚数が変わることも変更点のひとつです。従来は最新20枚中ベストの10枚から算出していましたが、WHSでは最新20枚中ベスト8枚が採用されることになります。更新頻度は、従来は月に1回(毎月1日)でしたがWHSではスコアを提出した翌日にすぐ更新されます。リアルタイムに更新することで、プレーヤーの最新の技量が直ぐに反映されることになるわけです。

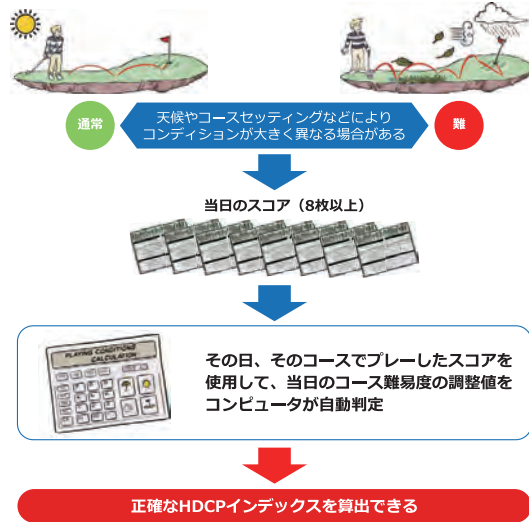
HDCPインデックスの上限が引き上げられることも特色のひとつ。現在、JGAのHDCPインデックス上限は男子が36.4、女子が40.4ですが、WHSでは男女ともに54.0となります。これによって、初心者など多くのプレーヤーが自分の技量に見合ったHDCPインデックスを取得できるようになるわけです。変更点で興味深いのはプレーイングコンディション計算(PCC)が反映されるようになったということです。

ゴルフは気象条件やコースコンディション、ホールロケーションなどによって同じゴルフ場であっても難易度は変動します。PCCは提出されたスコアからその日の難易度を判断し、通常と大きく異なる場合には調整値を加味して自動計算するシステム。こうすることでプレーヤーの技量をより正しく、公平に判断できるので。ただし、スコアの提出数が少なれば判断が難しいので「1コースにつきHDCPインデックス36.0以下の提出者8人以上」という決まりがあります。難易度の判断に採用されるのはプレー当日に提出されたスコアだけ。ただしこれまで通り、翌日以降に提出されたものも個々のHDCPインデックス算出には有効です。

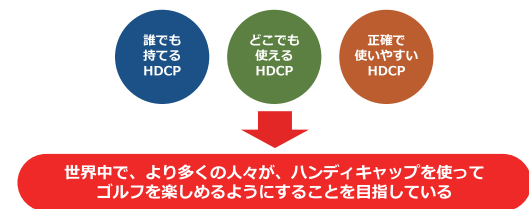
Q WHSのHDCPインデックスを取得すれば、どんなメリットがあるのでしょうか。

A まず、どこにでも持ち運びができるというメリットがあります。倶楽部固有のいわゆる倶楽部HDCP

★プレーイングコンディション計算(PCC)



★WHSの3つの理念



は一般的に倶楽部内のみで使用するものですが、ここは大きく異なる点です。持ち運びが可能なのはプレーするゴルフ場の難易度に応じてHDCPインデックスが変動するシステムだから。自分のHDCPインデックスを、その日プレーするゴルフ場、ティーイングエリアに応じたプレーイングHDCPに換算するのです。こうすることで、異なるティーイングエリアからプレーするゴルファー同士でも公平に競い合うことが可能。それだけでなく、複数のゴルフ場を使用した競技を行うこともできるわけです。もちろん、日本国内だけでなく世界規模での競技を開催することも可能。WHSを活用すれば世界のどこでも、誰とでも、公平にプレーを楽しみ、競い合うことができます。また、HDCPインデックス保持者はJGAや各地区連盟の主催競技などへの出場資格を得ることができます。JGA主催競技にはドリームステージExperienceのような競技初心者でも気軽にナショナルオープン開催コースなどをプレーできるアンダーHDCP競技もありますからゴルフの楽しみが一層広がります。

Q HDCPインデックスはどうすれば取得できますか。

A 取得するには、いくつかの方法があります。JGA加盟倶楽部の会員であれば、所属倶楽部を通じて取得できます。詳しくは所属倶楽部にお問い合わせください。

倶楽部に所属していない方もJGA個人会員に入会すれば取得できます。JGA個人会員は多くの方にゴルフを身近なものとして楽しんでいただくために発足した会員制度で、JGAプレミアム会員とJGAグリーンクラブ会員の2種類から選べます(19歳未満の方を対象にしたJGAジュニア会員も設置しています)。また、PGS(日本パブリックゴルフ協会)加盟ゴルフ場を通して取得できる他、楽天GORA、GDOのゴルフ情報サイトからも取得できます。現在66万人以上のプレーヤーがHDCPインデックスを取得しており、約1600のゴルフ場で使用可能となっています。

Q すでにHDCPインデックスを取得しているプレーヤーがWHSに切り替わる時に注意する点がありますか。

A 現在、稼働しているJGAのHDCPサービス「NEW J-sys」は、新たな「J-sys」に移行し、4月7日(予定)のリリース後は引き続きそのままご利用になれます。

「J-sys」ではセキュリティ強化のため、ログイン方法が変更になります。従来のシステムではログイン用のIDとパスワードはJGAから発行されたものでしたが、今度はIDが個人のメールアドレスとなりパスワードは各自で設定していただくことになります。リリース後、従来通りにログイン画面にアクセスしていただくと操作説明が表示されますので、それに従って作業を進めてください。

Q WHSのことをより詳しく知るにはどうすればいいでしょうか。

A JGAでは公式HDCP専用サイトを開設しています。このサイトではWHSやHDCPインデックスの解説、取得方法からイベント情報まで、HDCP関連のさまざまな情報を動画も使って分かりやすく発信しています。ぜひ、アクセスしてみてください。

JGA公式HDCP専用サイト

